

盗難対策の自己診断チェックリスト

以下のA～Iの項目全てにチェックが入るよう
取組を強化しましょう。

ご自身の取組を
チェック!

- A 保管場所での盗難対策を実施している。
※周辺に民家がない場合や逃走経路が確保しやすい幹線道路の近くに保管している場合は、特に警戒が必要です。
- B 保管方法に関する盗難対策を実施している。
※下見の段階で、泥棒に「盗みにくい」と思わせることが重要です。
- C 農業機械本体の盗難対策を実施している。
※泥棒が本体の目の前まで来ています!最後の攻防のための対策を!
- D 盗難対策に関する情報の交換や収集をしている。
※対策実施に向けて農機販売店や防犯器具販売店に相談しましょう。
- E 個々の機械使用者が盗難対策を把握している。
※管理者・使用者すべてが盗難防止に対する意識を持つことが重要です。
- F 保管場所を含めて周辺住民と積極的に交流している。
※常に好機を狙う泥棒への警戒には、周辺住民の目と連絡が欠かせません。
- G ときには泥棒になったつもりで管理状況を確認している。
※より有効な対策を実施するためにも、幅広い視野を持って対応しましょう。
- H 所有する農業機械の機体番号など識別番号を記録している。
※打刻(貼付)されている機体番号は、盗難被害届時に重要な情報です。
- I 万が一、盗難に遭った際の保険などに加入している。
※盗難に対する補償の付いた保険や共済に加入しましょう。

各種保険(共済)	ご相談は・・・
農業共済「農機具共済」	⇒ 農業共済組合へ
JA共済「自動車共済」	⇒ 各JAへ
各保険会社「自動車保険」	⇒ 各損害保険代理店へ
もしくは「動産総合保険」	

盗難対策に決定的なものはありません!
複合的に取組んでこそ効果が出ます!!
地域で一体となって泥棒を排除しましょう!

あなたの農機が狙われている! ～農業機械を盗難から守るために～

「防犯の4原則による盗難対策で
あなたの農業機械を守りましょう」

農機を田畑に置いたままで盗難被害に遭ったり
倉庫を破られて盗難に遭うケースが多発しています。

光



音



時間



地域の目



防犯の4原則を組み合わせることがより大きな防犯効果の
発揮に繋がります。

-  光 …… 保管場所の周りを明るく照らす。
-  音 …… 警報器などで周囲に異常を知らせる。
-  時間 …… 侵入や解錠、機械の起動までの時間を稼ぐ。
-  地域の目 …… 近隣住民の目で不審者を警戒する。

保管場所での盗難対策

- 施錠設備のある倉庫に保管し、出入口や窓に警報器を設置したり、二重ロックを施すなど侵入防止を図る。
- センサーライトや防犯カメラ、チェーン等の防犯機器を設置する。
- 警備会社のセキュリティシステムを活用する。

防犯機器の例



センサーライトが人を感知して光を照射！



防犯カメラで夜間も不審者を記録

倉庫窓に補助錠などを設置



倉庫がない場合



隠す・囲う

保管方法に関する対策

カギの保管方法の徹底をする

- エンジンキーを本体に付けたままにしたり、マットの下など車両に保管せず、使用後は必ず持ち帰る。

時間をかけさせる

- ほかの大型車両などで遮蔽措置を取る。
- 保管時には前進で駐車するなど、アタッチメントを外してから搬送しにくい駐車方法を採用（ロータリーなどを外してトラクター本体のみを盗む手口が多くなっています）。

その他

- エンジンの始動に関する回路を切っておく。
- ハンドルを取っておく。



トラクターキャビンのフロアマット下はだめ！

強固なチェーンで他の農機や建物の柱とガッチリ固定

トラクター



固定

保管方法の例

格納



倉庫には前進で駐車！（急いで出られない）

包囲



住宅とブロック塀と乗用車で囲んで保管！

農業機械本体の盗難対策

- 車内への不正な侵入動作に反応する警報装置やハンドル固定装置などを取り付ける。
- 不正なエンジンキー等によるエンジンの始動を防ぐため、イモビライザなどの盗難防止装置を取り付ける。
- 所在を追跡できるようGPS（全地球測位システム）装置を導入する（農機メーカー、警備会社等で管理システムを取扱い）。

タイヤロックの例

提供：有限会社常陸板金製作所（製造元）
JAあいち経済連



後輪を棒でロック！

警報器の例

提供：株式会社クボタ



取り付けした警報器が不正な動作やエンジンの作動を検知！！

GPS装置利用の例

提供：ヤンマー株式会社



GPS装置搭載機種により位置情報を把握。
※稼働制限範囲と稼働制限時間を越えた場合、所有者へお知らせ。

※後付け型のGPS装置については警備会社で取り扱いがあります。

ハンドルロックの例

提供：JAあいち経済連



ハンドルを固定！

これらの機器は、盗難防止に一定の効果はありますが、盗難防止を保証するものではありません。できる限り複合的に対策を取り入れて、少しでも泥棒を寄せ付けられない環境づくりを心がけましょう。

その他 注意事項

ア 不審な人物や見慣れない車を見かけたら、外観やナンバーを記録に残しておく。

泥棒は必ず「仕事がしやすい」かどうかの下見をしています！
別の用事を装って、堂々と偵察していく可能性もあるので要注意！

イ 倉庫や農業機械本体に取り付けた警報機などが反応した際、近隣住民に110番通報をしてもらえるよう頼んでおくなど、周囲の理解を得ておく。

万が一に備えて ～取り返すために～

- 所有している農業機械の機体番号や特徴を記録しておく。
- 盗難に遭ったら、直ちに最寄りの警察署へ被害届を提出する。

車両に打刻貼付された機体番号

